

第40回全日本少年サッカー大会 石川県大会

実施要項

1. 趣旨

日本の将来を担う子どもたちのサッカーへの興味・関心を深め、サッカーの技術・理解を向上させると同時に、サッカーを通じて心身を鍛え、リスペクトの精神を養い、クリエイティブでたくましい人間の育成を目指し、その研修の場として本大会を開催する。将来に向けて大きく成長するための準備として、この年代にふさわしいゲーム環境を提供することにより、育成年代で年代に応じた豊かな経験を積み重ねる中で自ら成長していくことのできるようサポートする。子どもたちや周囲の大人が、サッカー、スポーツの素晴らしさに触れ、生涯にわたって楽しみ、関わっていけるよう、文化として醸成していくことを目指す。

2. 名称

第40回全日本少年サッカー大会 石川県大会

3. 主催

公益財団法人日本サッカー協会／一般社団法人石川県サッカー協会
公益財団法人日本体育協会 日本スポーツ少年団
読売新聞社

4. 主管

石川県少年サッカー連盟

5. 後援

日本テレビ放送網／報知新聞社／石川県教育委員会／北陸放送

6. 特別協賛

YKK／花王

7. 協賛

日本マクドナルド／日清オイリオグループ／ゼビオ

8. 日程・会場

- (1) 開会式（少年サッカーの集い）：9月24日（土） 15時から 白山市美川文化会館（白山市）
- (2) 組合せ：9月24日（土） 15時30分から白山市美川文化会館（白山市）で抽選会を行い決定する。
- (3) 試合
トーナメント1・2回戦：10月16日（日）、23日（日） 能登島グラウンド（七尾市）
トーナメント3・4回戦：10月30日（日） 能登島グラウンド（七尾市）
トーナメント（準々決勝）：11月3日（木祝） 内灘町サッカー競技場（内灘町）
トーナメント（準決勝・決勝）：11月6日（日） 松任総合運動公園陸上競技場（白山市）

9. 参加資格

- (1) 「参加チーム」は、大会実施年度に（公財）日本サッカー協会（以下「JFA」）第4種に加盟登録したチーム（以下「加盟チーム」）であり、能登、金沢、白山、加賀の4地区で開催したU-12リーグに参加していること。
- (2) 上記「参加チーム」の構成は、単一「加盟チーム」に限られ、その「加盟チーム」は年間を通じて継続的に活動していること。
- (3) 「参加選手」は、上記「加盟チーム」に所属する選手であること。健康であり、且つ保護者の同意を得ること。
- (4) 都道府県大会で、同一「参加選手」が異なる「加盟チーム」への移籍後、再び参加することはできない。
- (5) 引率指導者は、「参加チーム」を掌握指導する責任ある指導者であること。また、内1人以上が、JF

A公認コーチ資格（D級コーチ以上）を有すること。引率指導者の登録人数は制限しないが、エントリー表に記載がない場合は、ベンチ入りを認めない。

- (6) 「加盟チーム」は、複数の「参加チーム」の出場を認める。（ただし、複数チーム出場の場合は、そのチームには6年生がいること。異なる引率指導者、審判員であること。）（ローカルルール）
- (7) 「参加チーム」は、4級以上の審判員を2人以上帯同し、責任ある審判を行うこと。（ローカルルール）
- (8) 「参加チーム」は、チームの責任において傷害保険（スポーツ安全傷害保険）に加入すること。
- (9) 「参加チーム」は、異色のユニフォームを2色用意すること。
- (10) 「参加チーム」は、エントリー表を9月15日（木）17：00までに提出すること。
- (11) 「参加選手」は、原則としてJFAの発行した選手証（写真貼付されたもの）を有すること。
ただし、電子登録証（写真が登録されたもの）が確認できる場合は出場を認めるものとする。
- (12) 準決勝・決勝においては、「参加選手」及び「引率指導者」の登録証（写真貼付されたもの）の提示を求めることもある。また、電子登録証（写真が登録されたもの）で確認できる場合も認める。

10. 大会形式

- (1) 8人制サッカーとし、ノックアウト方式で行う。優勝以下第3位までを決定する。
（第3位決定戦は行わない。）
- (2) 能登、金沢、白山、加賀の4地区で開催したU-12リーグの出場チーム数に応じ、上位16チームをシードして3回戦からの出場とする。シードチームは、能登4、金沢5、白山4、加賀3の16チームとする。
（ローカルルール）
- (3) 対戦チームは試合ごとに、メンバー表を本部に提出し、メンバーチェックを受けること。（メンバーチェック：1試合目は、試合開始の30分前とし、その後は原則前の試合がキックオフされた直後の時間に行う。）
- (4) 大雨、落雷などの特別の場合を除き、雨天でも試合を決行する。（中断、中断後の再開、中止する場合は、大会本部にて決定する。）

11. 競技規則

JFA「8人制サッカー競技規則」による。（2016/2017競技規則の改正を適用する。）

12. 競技のフィールド

- (1) フィールドの表面は、天然芝又は人工芝とする。
- (2) フィールドの長さ（タッチライン）は68m、幅（ゴールライン）50mとする。
- (3) ゴールポストの間隔は5m、クロスバーのグラウンドからの高さは2.15mとする。（少年用ゴール）
なお、ゴールは、競技者が負傷しないように安全に設置しなければならない。
- (4) ペナルティエリアは、ゴールライン上ゴールポスト外側に12m、その地点からゴールラインに直角12m。
- (5) ゴールエリアは、ゴールライン上ゴールポスト外側に4m、その地点からゴールラインに直角4m。
- (6) センターサークルは、半径7m。
- (7) ペナルティマークは、8m、ペナルティアークは、半径7mの半円弧。
- (8) フリーキック時の壁との距離は、7m。
- (9) コーナーアークは、1m。
- (10) 交代ゾーンは、自由な選手交代のため、ベンチ側のタッチラインのハーフウェーに6mの交代ゾーンを設ける（ハーフウェーラインを挟んで3mずつ、0.3mのライン又はマーカークォーンを置く）。

13. 試合球

モルテン社製「ヴァンタジオ 5000 キッズ（F4V5000・4号球）」とする。（大会本部で準備する。）

14. 競技者の数、登録人数（エントリー人数）及び交代

- (1) 1チーム8人の競技者で行う。チームの競技者のうち1人はゴールキーパーとする。
8人に満たない場合は試合を開始しない。（競技者が8人に満たない場合は、棄権チームとみなす。）
ただし、その試合中に怪我等による人数不足により8人に満たなくなった場合には、そのまま続行する。
- (2) 登録人数は、制限を設けない（ローカルルール）。ただし、1試合の登録人数は16人までとし、交代要員は最大8人とし、交代して退いた競技者は交代要員となり、再び出場することができる。交代の回数は制限しない。

- (3) 負傷した競技者の負傷の程度を確かめるために入場を許される引率指導者の数は2人以内とする。
- (4) 交代して退く競技者は、交代ゾーンからフィールドの外に出る。
- (5) 交代要員は、交代ゾーンからフィールドに入り、競技者となる。
- (6) 交代は、ボールがインプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず行うことができる。(ゴールキーパーは除く。)
ただし、交代で退く競技者が負傷している場合は、主審の承諾を得た上でどこからフィールドを離れてもよい。
- (7) 交代は、主審、補助審判(第4の審判)の承諾を得る必要はない。(ゴールキーパーは除く。)
- (8) ゴールキーパーは、事前に主審に通知した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。

15. 競技者の用具(ユニフォーム)

- (1) 大会実施年度のJFA「サッカー競技規則」第4条(競技者の用具)及びJFA「ユニフォーム規程(2016年4月1日施行)」に基づいたユニフォームを使用しなければならない。
ただし、今回の規程で追加・変更となった内容のうち、以下は2019年3月31日まで旧規程による運用を許容する。
第5条【ユニフォームへの表示】※街頭のみ抜粋
GKグローブ・キャップへのチーム識別標章・選手番号・選手名の表示
両肩・両腕・両袖口・両腰脇・両裾に表示できる製造メーカーロゴマークの幅(10cmから8cmに変更)
同一の製造メーカーロゴを帯状に配置する場合のロゴマーク間の距離
- (2) 本大会「エントリー表」に記載した選手番号は、変更することはできない。番号は整数の1~99を使用し、0は認めない。ユニフォームには、チーム名・選手番号を必ず表示するものとし、広告表示は認めない。(ローカルルール)
- (3) フィールドプレーヤーがゴールキーパーをする場合に限り、他の競技者や審判服と区別された色のシャツ(選手番号は同じ)の着用を可とする(ローカルルール)。ビブスによる対応は認めない。
ただし、事前にメンバーチェックで承認された場合のみとする。
- (4) ゴールキーパーユニフォーム着用の選手がフィールドプレーヤーをする場合は、フィールドプレーヤーと同じユニフォームを着用しなければならない。
- (5) アンダーシャツを着用する場合は、その袖の色はシャツの袖の主たる色と同じ及びアンダーショーツ又はタイツを着用する場合は、その色はショーツの主たる色と同じでなければならない。
ただし、アンダーシャツを白、スパッツ・タイツを白又は黒で統一する場合は認める。
(ローカルルール)
- (6) ストッキングにテープ又は同様な材質のものを外部に着用する場合は、それは着用する部分のストッキングの色と同じものでなければならない。
- (7) チームのキャプテンは左腕にキャプテンマークをつけること。
- (8) 取り替え式ポイントシューズ及びアルミポイントシューズの使用を禁ずる。
- (9) 「すね当て」を着用すること。
- (10) 安全上、選手の眼鏡使用は禁止する。
なお、スポーツゴーグルを使用する選手は、本大会の「エントリー表(メンバー表)」に記載する。スポーツゴーグルは、メンバーチェック時に本部にて確認する。
- (11) ゴールキーパーの負傷退場等により、緊急避難的にフィールドプレーヤーがゴールキーパーに代わる場合については、その競技者の番号等の表示を義務付けるものではない。(緊急避難措置としてビブス(番号なし等)による対応を認める。)

16. テクニカルエリア

- (1) テクニカルエリア(ベンチ)に入ることのできる人数は、交代要員8人以内、引率指導者3人以内とする。
- (2) その都度、ただ1人の引率指導者のみ戦略的指示を伝えることができる。
- (3) 引率指導者は有資格者がベンチ入りをすることに心がけること。

17. 審判員

- (1) 試合は、主審1人と副審2人と第4の審判員1人で行う。
- (2) 主審は、審判をする前に審判証(写真付)を本部で提示し、他の審判と試合内容を確認、審判後は速や

かに審判報告書（両チームのメンバー表添付）を作成後、本部に提出する。

- (3) 第4の審判員は、ベンチに入ることができる選手及び引率指導者の確認、ベンチコントロール、負傷者の対応、ボールの交換の管理、交代手続き等試合が円滑に行われるよう主審を援助する。
- (4) トーナメント準々決勝の主審及び準決勝以降の4人の審判は県少年連盟で指名する。
- (5) グリーンカード制度を導入する。
主審は、フェアプレー精神にあふれた行動やリスペクトある行動を取った競技者にグリーンカードを示す。
グリーンカードは、試合開始前から試合中、また試合終了後であっても、ボールがインプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず、示すことができる。（主審は、報告書に提示内容を記載する。）

18. 試合時間

- (1) 試合時間は、40分（前後半各20分）とし、ハーフタイムのインターバル（前半終了の笛から後半開始まで）は原則10分間とする。ただし、1～4回戦は、ハーフタイムのインターバルを原則5分とする。
（ローカルルール）
- (2) 規定の時間内に勝敗が決しない場合は、ペナルティキック方式により勝利チームを決定する。
準決勝・決勝は、10分間（前後半各5分）の延長戦を行い、なお決しない場合はペナルティキック方式により勝利チームを決定する。なお、延長戦に入る前のインターバルは原則5分間、ペナルティマークからのキックに入るまでのインターバルは原則1分間とする。
- (3) 試合が終了し、ペナルティキックを行う前に、一方のチームの競技者が相手チームより多い場合は、競技者の多いチームは相手競技者数と等しくなるように競技者数を減らさなければならない。
- (4) ペナルティキックは、両チーム3人ずつの競技者がキックを行ったのち、両チームの得点と同じ場合は、同数のキックで一方のチームが他方より多く得点するまで交互に順序を変えることなくキックは続けられる。
- (5) 暑熱下において前・後半の中程で飲水タイムを採用する。飲水タイムの有無を前・後半開始前に両チームへ通告する。

19. 警告・退場

- (1) 競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。
- (2) 本大会において退場を命じられた選手は、自動的に次の1試合に出場できず、それ以降の処置については規律委員会で決定する。
- (3) 本大会の期間中に警告を2回受けた選手は、本大会の次の1試合に出場できない。
- (4) 審判への侮辱による退場を宣告された選手・指導者等は、違反行為の内容によっては、規律委員会で処分を決定する。
- (5) 本大会終了時点で退場・退席による未消化の出場停止処分は、決勝大会において順次消化する。
- (6) 本大会は、JFA「懲罰規程」に則り、本大会の規律委員会の委員長は、県少年連盟規律委員長が務める。

20. 参加申込及び参加料等

- (1) 「参加チーム」は、8月31日（水）代表者打合せ会において参加申し込みを行い、9月15日（木）17:00までに「エントリー表」に必要事項を記載の上、各地区担当役員に対してメール連絡を行うこととする。
なお、エントリー表提出以降、内容の変更は次の項目以外認めない。
- (2) 傷病を理由とする参加選手の変更は認めることとし、別途定める方法にて、10月11日（火）17:00までに県少年連盟へ医師が発行する診断書を添えて、再度「エントリー表」提出すること。なお、参加選手数の追加は認められない。
- (3) 参加料は、1チーム 7,000円とする。（9月24日（土）開会式受付にて集金する。）
- (4) 会場に至る往復の交通費及びその他大会参加に必要な経費は参加者負担とする。

21. 表彰

- 1位 表彰状、優勝トロフィー、優勝メダル
- 2位 表彰状、準優勝メダル
- 3位 表彰状（2チーム）、メダル

以上の他、特別協賛社賞（努力賞、グッドマナー賞）、協賛社賞の副賞を授与する。

また、優勝チームは、第15回北信越U-12少年サッカー大会（11月19～20日開催：新潟県）及び全日本少年サッカー大会決勝大会（12月25日（日）～29日（木）鹿児島県開催）に出場（登録選手は16人とし、16人に満たない場合は「加盟チーム」内の選手から補充することができる。）する。

22. その他

- （1）本大会の実施に関して大会要領に定めのない事項については、県少年連盟が最終的に決定するものとする。
- （2）協賛社から参加チームへの提供物品については、主催者の指示に従うこと。
- （3）開会式（少年サッカーの集い）における選手宣誓は、前年度優勝チームの符津スポーツ少年団サッカー部の選手により行う。
- （4）大会規定に違反し、その他不都合な行為があった場合は、そのチームの出場を停止する場合がある。
- （5）対戦する両チームのフィールド及びキーパーのユニフォームの色が同系色の場合は、事前に対戦する両チームで調整の上、メンバーチェックを受けること。
- （6）駐車に関しては、駐車場担当の指示に従い、車のダッシュボード等に所属チーム名が分かるような表示をするとともに、必ず、決められた駐車場に整列駐車すること。会場周辺の道路など違法駐車は絶対しないこと。
なお、駐車場の乗り入れに際し、所属チームが不明の場合は乗り入れを断る場合がある。
- （7）タバコは、決められた喫煙場所以外は禁煙とします。特に、選手・子供の前では喫煙しないこと。
- （8）チームで出したゴミ及びテント（集合場所）近くにあったゴミは必ず持ち帰って処理すること。

各会場で行う試合の結果は、速報で提供しています。

PCサイト：<<URL>><http://flex11goal.dip.jp/>

携帯サイト：<<URL>><http://flex11goal.dip.jp/m/>